



いみず 市議会だより

Imizu City Congress News

No.64

令和3年11月1日発行



議員集合写真（9月定例会最終日）

10月

18日
広報委員会

29日 本会議
28日 議会運営委員会、
予算特別委員会、
27日 予算特別委員会
24日 議会改革特別委員会
22日 産業建設常任委員会
21日 民生病院常任委員会
17日 総務文教常任委員会
16日 議会改革特別委員会専門部会
15日 決算特別委員会（全会計）、
（病院・水道・下水道）
14日 決算特別委員会（特別会計）
13日 決算特別委員会（一般会計）
10日 予算特別委員会（説明）
9日 本会議（一般質問）
8日 本会議（代表質問）、
議会運営委員会、
全員協議会、広報委員会
2日 本会議（全会計）
2日 議会運営委員会、本会議、
全員協議会

9月

8月

2日 議会運営委員会
11日 広報委員会
25日 議会運営委員会、全員協議会

市議会のついで

代表質問



【自民党新政会】

山崎 晋次 議員



1 実現すべき未来構想について

i マイカーのいない移動手段の確立について

2

公民連携によるまちづくりと今後の公共施設の多様性・多機能性について

3

ひきこもり支援対策の現状と今後の取組について

問① i▶ DXを活用し、「移動手段が県内一確立された射水市」を目指すことが、若者の移住・定住の促進や高齢者の移動手段の支援につながると考える。選ばれるまちの推進に向けて早急に取り組むべきと考えるが見解を伺う。

答▶ 本市DXビジョンの「つながる地域交通」で想定される事業は、自家用車を所有・運転しなくても生活できる便利な地域交通の実現であり、高齢者や障がいのある方、学生、子どもなどあらゆる市民の利便性が大幅に向上すると考える。これによりカーボンニュートラル※の実現も目指すものである。加えて利便性や先進性が高い魅力あるまちは、若者の移住・定住の促進において大きなアドバンテージを持つと考えている。事業実現に向けて庁内職員による「自動運転・公共交通ワーキンググループ」を設置したところであり、この中で調査・研究・実施に向けた検討を行っていく。

問②▶ 公民連携の手法を活用し、財政負担を軽減しつつ、公共施設の用途の多様化や多機能化に取り組まなければならない。今後、市政の様々な領域において公民連携の取組を進める

必要があると考えるが見解を伺う。

答▶ 人口減少等に伴い財政的制約が、今後強まると想定される中、市民ニーズの多様化、高度化に伴う行政需要の増大も重なり、公民連携の重要性は高まると考える。公共施設の多様化、多機能化を含め公共交通、環境、福祉、DXなどの様々な分野で民間事業者との連携を深めることは、本市のまちづくりの可能性を大きく広げるものと考ええる。民間事業者がアイデアを提案しやすい仕組みの構築や第3次総合計画への位置付けも含め公民連携の推進を図っていく。

問③▶ 本市が取り組んでいるひきこもり支援事業の現状と就労に関する今後の取組について伺う。

答▶ 昨年7月、市社会福祉協議会内にふくし総合相談センター「すてっぷ」を開設し、サポート事業を開始した。昨年度は、33名の方に対し延べ272件の就労や健康、居場所に関する

相談があり、情報提供や関係機関へのつなぎ、訪問支援や同行支援などを行った。また、ひきこもりサポーター養成講座を開催し35名が受講した。公認心理師等による専門相談会を11回実施し、24件の相談があった。加えて自立相談支援では29名の利用があった。本年9月から市社会福祉協議会に新たにアウトリーチ支援員※を配置し、自宅に伺い、本人との信頼関係を築き、丁寧な支援ができる体制とした。就労相談については、本人の生活リズムを整え、一定の時間に事業所や地域活動の場への参加を試みるなど社会参加に向けた支援を段階的に行う事が重要と考える。今後もひきこもり状態の解決に向けて長期的な視点も併せ支援したい。



その他の質問

- 10歳未満・10歳代のコロナ感染症拡大に伴う小・中学校の在り方について
- 児童の通学路における交通安全の確保について
- 本市における豪雨対策について
- 富山米の概算金減額が本市の農業に及ぼす影響について
- 射水市観光振興計画について

※の文字については最終ページに用語解説があります。

代表質問



【自民議員会】

島 正己 議員



1 第3次射水市総合計画について

2 中枢中核都市について

3 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進について

問①▶ 総合計画後期実施計画期間が1年短縮されることによる各施策への影響や事業の進め方、及び、第3次総合計画の現在の進捗状況について伺う。

答▶ 1年前倒しにより影響を受ける事業は、予算編成の結果を踏まえて、新たな総合計画実施計画の初年度に必要な事業費を計上することとなるが、取組の歩みを止めることなく引き継ぐ。本年7月から「まちづくりミーティング」や「タウンミーティング」を開催してきた。現在、市民5,000人を対象とした「市民意識調査」を実施している。総合計画審議会は、公募委員の募集を開始するなど委員の人選を進めており、本年12月頃の第1回審議会開催を目指し、総合計画見直し方針の取りまとめや既存計画の検証など、策定作業を加速させてまいりたい。

問②▶ 中枢中核都市としての国からの具体的な支援とその効果及び本市における中枢中核都市としての役割について伺う。

答▶ 国からの具体的な支援としては、フットボールセンターの整備にあたり中枢中核都市に指定されていたことで、地方創生関連交付金の交付額が2億円

程度増額された。また、省庁横断チームによるハンズオン支援※では、太閤山地区のリノベーションが採択され、指導助言を得ながら計画を策定した。これらの各種支援を受けながら本市の特性を生かしたまちづくりを推進するとともに、引き続き東京圏への人口流出抑制に努め、とやま呉西圏域全体の経済を支える等、本市が中枢中核都市として活力ある地域社会を維持するための拠点地域としての役割を果たしてまいりたい。

問③▶ DXビジョンでは、全国の地方都市のモデルを目指すとのことである。想定される事業には、多くの課題が存在すると思う。今後の取組の進め方について伺う。

答▶ DXビジョンでは、令和7年度の未来を想像し、多くの

人が集い、交流し、笑顔があふれ、幸せを実感できる「魅力あふれるまち」を目指し、重点的に取り組む戦略等を示している。デジタル機器が苦手な方や操作に不慣れな方が取り残されることが無い様、全ての人がDXによるメリットを享受出来るよう配慮する。



その他の質問

- 令和4年度射水市一般会計予算編成について
- 自然災害対策について
- 衛生センターの整備について
- 新型コロナウイルスワクチン接種推進、感染拡大防止対策について
- 鏡宮地内水道管漏水について
- 学校教育について
- 消防指令業務の共同運用について

一般質問

1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

2 キャッシュレス決済ポイント還元・消費喚起事業(PayPay)について

3 小中学校の在り方について

4 空き家バンクについて



加治 宏規 議員

問①▶ これまでの使い道について伺う。

答▶ これまで2か年度で合計16億円を計上し、市民生活支援事業をはじめ、事業者支援や地域活性化事業、感染拡大防止対策事業などを実施している。

問②▶ アンケート調査や実績データをどのように生かしていくのか。

答▶ 今定例会に提案している商工団体が行う消費喚起を目的としたプレミアム商品券発行事業に支援するなど、商工団体や事業者の声を捉え、地域経済の活性化に的確に取り組んでまいる。

問③▶ 現在学校の在り方について具体的に取り組んでいる学校はあるのか。また、その進捗状況について伺う。

答▶ 放生津・新湊小学校区の児童数が急激に減少していく状況を受け、昨年度から放生津小学校、新湊小学校のPTA役員や、放生津・新湊・庄西地区の自治会長などに対し、児童数の状況や今

後の見込、小規模校のメリット・デメリット等を示しながら、意見交換会を開催している。保護者や地域と課題を共有し、ご理解を得ながら、子ども達にとって望ましい教育環境の実現に向けて意見交換を進めてまいりたい。

問④▶ これまでの空き家バンク登録物件数と売買成約件数について伺う。

答▶ 平成20年度にバンクを開設し、これまで329件の空き家等の登録を行い、本年8月末までの売買件数は234件となっている。なお、令和3年8月末現在の登録件数は53件となっている。



その他の質問

●工事資材変動に伴う市の対応について

一般質問

災害の備えについて

- i 福祉避難所※について
- ii 浸水発災時の園児の安全確保について
- iii 浸水発災時の児童生徒の安全確保について
- iv 被災時の安否不明者の公表について
- v 停電時の避難所のトイレの使用について
- vi 避難所におけるFreeWi-Fiの設置状況について



高畑 吉成 議員

問① i ▶ 要配慮者※の福祉避難所※への直接避難について伺う。

答▶ 福祉避難所※となる施設本来の機能の維持も必要であり受入人数も限られることから調整せずに直接避難することは難しいが、速やかな避難に向け防災訓練などを通じ施設との連携を強化していく。

問① ii ▶ 保育園・幼稚園において、浸水等災害時に保護者がすぐに迎えに行けない場合の対応について伺う。

答▶ 保護者が迎えに来られないなど、施設にとどまらざるを得ない場合は、施設内の安全な場所で救助を待つなど安全確保に努める。

問① iii ▶ 同様に小中学校での対応について伺う。

答▶ 想定される浸水以上の階に避難し救助を待つ。保護者に連絡が取れるまで学校に待機させる。

問① iv ▶ 被災時の安否不明者の公表について伺う。

答▶ DV被害者の住所が特定されるなどの課題もあり、県から示

される公表基準等を踏まえ検討する。

問① v ▶ 停電時の避難所のトイレの使用について伺う。

答▶ 収容者数の多い避難所54施設のうち、小中学校など19施設において停電の影響を受けると考えられることから、発電機や仮設トイレのレンタルで対応する。

問① vi ▶ 避難所のFreeWi-Fiの設置状況について伺う。

答▶ 一次避難所では73施設中65施設で設置済みである。



その他の質問

●市街化区域内の宅地開発と防犯灯や交通標識等について
●街なかベンチについて

一般質問

1 射水市DXビジョンについて

2 薬勝寺池の環境整備について



小島 啓子 議員

問①▶ DXの推進にあたっては、市民の利便性の向上が図られる事業となることはもちろんであるが、デジタル技術の利用が困難な高齢者・生活困窮者などの問題にも配慮して、十分な理解を得ながら進めるべきと考えるが見解を伺う。

答▶ デジタル技術の活用は、高齢者などにも大きな便益が得られるものと考えており、本ビジョンで示しているように、スマートフォンなどのデジタル機器の操作に不慣れな方や、お持ちでない方が取り残されることがないように、希望するすべての人が恩恵を享受できるよう配慮していく。

問②▶ 自然豊かな公園にある薬勝寺池の池干しを昭和59年に実施してから37年経過するが、池の水草の刈り取りや堆積物の除去等について見解を伺う。

答▶ 公園面積の約3分の1を占める池には、種類が豊富な水生植物やフナが生息し、池の周辺には様々な昆虫などが生息しており、水や緑などの自然的な要素を活かした公園であると認識している。池の堆積物の除去については、7年前に富山県立大学に依頼し、水

質、生態系などの調査を行い、直ちに浚渫が必要な状況ではなく、水草取りによる維持管理を適正に行うことと報告を受けている。加えて毎年、市で実施しているため池に係る水質調査の結果においても基準値を満たしていることから、今のところ緊急性は低いと考えている。



その他の質問

●放課後児童クラブについて

一般質問

1 通学路の安全確保について

2 新型コロナウイルス感染症対策について



不後 昇 議員

問①▶ 通学路の安全確保について伺う。

答▶ 千葉県八街市で発生した児童の死傷事故を受け、文部科学省が示した見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になってい

る道路など車の速度が上がりやすい箇所や大型車の侵入が多い箇所など、新たな観点を踏まえた危険箇所の抽出を、全小中学校で終了し、77の危険箇所が提出されてきたところである。今後、提出された危険箇所について、各道路管理者や警察、学校と連携し、現地確認も含めた合同点検を10月初旬までに行う。その後、対策案を検討・作成し、内容に応じて道路管理者などの関係機関に対し要望を行っていきたい。

問②▶ 新型コロナウイルス感染症対策について伺う。

答▶ 本市におけるワクチン接種の進捗状況については、9月6日現在で12歳以上の対象者全体では、2回目接種率が47.4パーセントであり、約半数の方が接種を終えている状態である。先行接種の取組状況については、4月から

高齢者施設入所者・施設従事者等、幼稚園・保育園等従事者、小中学校教職員、ひとり親の方など約5,000人の接種を行った。また、ひとり暮らしの高齢者等の予約漏れがないよう地域振興会や民生委員児童委員協議会など関係団体の協力を得て予約等支援事業に取り組み、更に9月からは、大学受験や高校受験を控えた生徒合わせて約1,200人のほか、妊婦の接種も行っている。



その他の質問

●気候非常事態宣言・ゼロカーボンシティ宣言について

一般質問

1 水害等における浸水深及び避難誘導の明示について

2 65歳以上の重度心身障がい者の医療費助成について

3 本市の水田農業について



根木 武良 議員

問①▶ 洪水ハザードマップを踏まえて、想定浸水深や避難所への誘導標識を電柱などに明示して

はどうかと考えるが、当局の見解を伺う。

答▶ 昨年5月に配布した洪水ハザードマップの周知をはじめ、災害時における避難誘導等に関して、射水市版のマイ・タイムライン[※]や避難行動判定フローなどを活用し自分や家族の避難行動をあらかじめ整理しておいていただきたい。

水害等に対応する浸水深や避難誘導標板の設置については、全国的に実績が少なく、引き続き近隣自治体の取組に注視していきたい。

問②▶ 65歳以上の重度心身障がい者の医療費助成について、現物給付を導入すべきと考えるが当局の見解を伺う。

答▶ 65歳以上の重度心身障がい者医療費助成については、県単医療費助成制度の在り方の中で県と市町村が検討している。本市の現物給付の導入についても、

この中で引き続き協議を重ねていく。

問③▶ 本市の米の取引価格が下落しているが、現状及び今後の対応について伺う。

答▶ 本市の現状は、いみず野農業協同組合における令和2年産米の在庫数量が約120トンで概ね販売契約済であり、昨年同月と同じ状況である。国の動向を注視し、関係機関と連携しながら引き続き水田農業の経営安定対策に取り組んで行く。



その他の質問

- 防犯灯の設置について
- 保育園や放課後児童クラブでのクラスター対策について

一般質問

脱炭素社会に向けた本市の取組について

- i 開発行為洋上及び陸上での風力発電設備設置の可能性について
- ii カーボンニュートラル[※]の実現に向けた本市の今後の取組について

2 内川の安全対策について



吉野 省三 議員

問① i ▶ 本市はこれまで、太陽光発電、木質・もみ殻バイオマス等の再生可能エネルギーの設置や

支援に積極的に取り組んできたと認識しているが、風力発電設備の設置には至っていない。今後の設置の可能性について伺う。

答▶ 環境省の再生可能エネルギー情報システムによれば、自然条件、社会条件、事業性試算条件から推計した本市の陸上における風力発電導入ポテンシャルはゼロとされており、洋上においても同様であることから、本市での導入は困難であると考えている。

問① ii ▶ 国の施策に乗り遅れない対応や第3次総合計画にも明記する予定であることを鑑み、プロジェクトチーム等を立ち上げ推進すべきと思うが、見解を伺う。

答▶ カーボンニュートラル[※]の実現に向けた全庁的な取組の推進を図るとともに、本市の地域特性を活かした環境と経済が両立できる取組を市民、事業者、行政

それぞれの立場で行えるよう検討を行う。

問②▶ 内川を散策する観光客が多くなっている。万が一の転落に備え、小型船舶用の救命浮輪と擁壁を昇るはしごを兩岸に一定間隔で設置することを提案するが、見解を伺う。

答▶ 提案も踏まえ、今後、どのような安全対策を講じる事ができるか、河川管理者である県を始め、関係機関・団体及び地元地域と協議してまいりたい。



その他の質問

- 2022年度から導入予定の小学校5・6年生での教科担任制の導入について

総務文教常任委員会

議案3件を可決すべきものとしました。
所管事務について7件の報告を受けました。

射水市市税条例の 一部改正について (議案第53号)

地方税法等の一部を改正する法律(令和3年法律第7号)が令和3年3月31日に公布されたことに伴い、本市条例について所要の改正を行うもの

【改正内容】

- ・個人市民税の非課税限度額における国外居住親族の取扱いの見直し
- ・個人市民税の医療費控除におけるセルフメディケーション税制※の延長
- ・個人資産税の課税標準の特例措置の創設

問 国外居住親族を扶養する納税義務者はどのくらいいるのか。

答 令和3年6月時点では、約600人である。

問 国外居住親族は、自己申告であったか。

答 自己申告であり、出生証明書等の一定の書類を添付する必要があったが、所得要件は確認できなかった。今回の改正により、30歳以上70歳未満の国外居住親族は、原則として扶養親族から除外される。

問 今回の改正による収収への影響はどの程度か。

答 個人市民税で約3千万円の増収である。

※セルフメディケーション税制とは

健康の維持増進及び疾病の予防として一定の取組を行っている方が、その年中に自己及び自己と生計を一にする配偶者その他親族のために1万2千円以上の対象医薬品を購入した場合、所得税及び住民税の算定の際に、1万2千円を超えた金額が8万8千円を限度として所得から控除される制度



地方創生推進交付金を 活用した新たな 実証運行の 実施について

「高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業」の取組として、射水ベイエリアにおいて『ペイくるん』及び『電動カートレンタカー』の実証運行を行うもの。

問 「電動カートレンタカー」が運行可能エリアを外れたり、乗捨てられたりした場合、はどうするのか。

答 運行可能エリアを外れると警報が鳴り、利用者にお知らせする仕組みになっている。乗捨てに対しては、位置情報を把握するなど、運行事業者との協議を進めているところであり、適切に対応していく。



第4次射水市行財政改革 集中改革プラン 令和3年度 改訂版(案)について

国の行政のデジタル化への集中改革と足並みを揃え、本市においても「コロナ後を見据えた『新しい行政』へのチャレンジ」として未来に向けた変化を戦略的に進めていくこととする。今回の見直しにおいては市役所のDXの実現に向けた取組を追加し、積極的に推進していく。

問 スマート窓口の導入(行政手続のデジタル化)とはどのような取組なのか。

答 具体的には「申請書を書かない窓口」を目指している。現在「スマート窓口ワーキンググループ」を立ち上げたところであり、市民の利便性に即したものであるよう検討している。

民生病院常任委員会

議案7件を可決すべきものとしました。
所管事務について8件の報告を受けました。

令和3年度射水市

病院事業会計補正予算

(第1号) (議案第50号)

収益的収支をそれぞれ94万9千円増額し、アルコール消毒自動噴霧器の購入費及び検温業務委託料を計上するもの。また、資本的収支をそれぞれ81万4千円増額し、医療器械及び卓上タイプの検温装置の購入費を計上するもの。

問 検温業務委託の内容及び今後の見通しについて伺う。

答 新型コロナウイルス感染症の発生以来、来院者全員を対象に、市民病院入口で検温を実施している。職員が交代で検温業務に当たってきたが、今年度から検温業務の一部を外部に委託するものである。ワクチン接種が進む中で、今後、人を配置せず検温業務を実施する課題として、車いす利用者やお子さんの対応が挙げられることから、卓

上タイプの検温装置と消毒用自動噴霧器を購入し、検温体制の整備を図る。

越中大門駅周辺

バリアフリー基本構想の策定について

射水市バリアフリーマスタープランにおいて、移動等円滑化促進地区の一つである大門・大島地区の越中大門駅周辺を重点整備地区に位置付け、バリアフリー化に向けた事業を具体化し、重点的かつ一体的に推進するため、越中大門駅周辺バリアフリー基本構想を策定するもの。

問 基本構想策定後の流れについて伺う。

答 基本構想の策定後、具体的な個々の事業を進めていく。例えば、越中大門駅のエレベーター設置では、まず基本

設計を行い、国の事業採択を受けて、詳細設計、工事となり、あいの風とやま鉄道株式会社と協議を行いながら進めていくこととなる。

問 越中大門駅のエレベーター設置については、事業が順調に進んだとしても、3～4年後と考えるとよいのか。

答 順調に進んだとしても、その程度の期間が必要であると考えている。

市内における

新型コロナウイルス感染者の発生状況について

9月17日現在で、市内の感染者の累計は、375人であり、直近の新規感染状況としては、若い年代の感染者が増加してきている。これまでの感染症対策を推進するとともに、ワクチン接種については、市民が安心して少しでも早く接種できるよう体制整備に努めていく。

問 新聞報道によれば、新型コロナウイルス感染症の自宅療養者情報について、富山県を含む7道県が市町村と共有しているとのことだが、射水市における現状について伺う。

答 現時点において、自宅療養者の氏名や住所などの情報が、県から一律に市へ提供されるという状況にはなっていない。生活支援を行うため、市から要望し、かつ、療養者本人の同意が得られた場合に、情報を受けることができる。とされておられ、その要望先となる窓口や方法について、早期に示すよう、県へ要請したところである。

問 今後の感染拡大に備え、自宅療養者に対する生活支援に向けた準備をすべきと考えるが、どうか。

答 現在、自宅療養者が必要とするものを買って送り届ける、買い物代行について検討しているところであり、準備を進めていきたい。

議案1件を可決すべきものとしました。
所管事務について6件の報告を受けました。

射水市地域経済牽引事業の促進による地域の

成長発展の基盤強化に

関する法律の施行に

伴う固定資産税の

課税免除に関する

条例の一部改正に

ついて（議案第57号）

地域経済牽引事業の促進によ

る地域の成長発展の基盤強化に

関する法律第26条の地方公共団

体等を定める省令の一部改正に

より、本条例に基づく固定資産

税の課税免除の対象となる施設

の設置期間が令和5年3月31日

までに延長されたことに伴い、

本市条例中の設置期間において

も同様に改正するもの。

問

対象となるのはどんな施設で、これまで課税免除になったのは何件か。

答

法に規定する同意基本計画に定められた促進区域内において、医薬品関連産業、電子デバイス関連産業、高度技術等を活用したものづくり産業、クリエイティブ産業、情報通信技術関連産業、食品・飲料製造関連産業、物流関連産業のための施設が対象となる。

これまで8事業者が課税免除になった。

射水市立地

適正化計画に

ついて



急速な人口減少が見込まれる

中、「射水市都市計画マスター

プラン（令和2年6月策定）」で

示した「多核連携型のまちづく

り」の実現を目指し、住居及び

都市機能の誘導に向けた取り組

みを推進する。

問

この計画は平成26年から制度化されているが、全国の状況はどうか。

答

全国では都市圏において策定しているところは多い。県内においては、6市1町で策定済みであり、現在は本市と1町が策定中である。



鳥越調整場低区

調整池耐震補強工事の

請負契約について

耐震診断調査をしたところ

耐震補強が必要との結果が示

されたことから、上野第3調

整池に引き続き工事を実施し、

将来的にも機能を損なわ

ないよう強靱な施設となるよ

う整備を行うもの。

【施設概要】

・築年数

平成7年（26年経過）

・構造

プレストレスコンクリート

・形状

地上式調整池（円形）

・形状寸法

PC造

（内径35.8m×高さ10.0m）

・基礎形状

杭基礎

・有効容量

10,000m³

問

調整場は他に何か所あり、耐震化は大丈夫か。

答

主要施設として、上野第1から第3調整池と、鳥越低区調整池の4つがメインである。昨年度、上野第3調整池の耐震工事が終わり、他にについては耐震性能がない。

問

この工事により耐用年数はどの程度延びるのか。

答

耐震工事によって耐用年数は延びないが、内面の防食工事を実施することによって実使用年数は1.5倍延びると考えている。

予算特別委員会

令和3年度射水市一般会計補正予算（議案第46号）及び（議案第60号）を可決すべきものとしました。

令和3年度射水市

一般会計補正予算

（第4号）（議案第46号）

歳入歳出にそれぞれ14億1,636万6千円を追加し、総額を400億2,454万6千円とするもの。

令和3年度射水市

一般会計補正予算

（第5号）（議案第60号）

歳入歳出にそれぞれ6千万円を追加し、総額を400億8,454万6千円とするもの。

【主な事業】

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種費
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金
- ・ 高齢者福祉施設の改修等に対する補助金 など

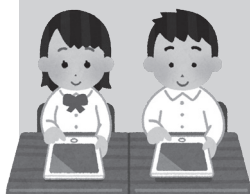
問

教育のICT化のため小学生に一人1台タブレット端末を配付しているが、県外でのタブレット端末がはじめの道具になった事例が発生した。本市の管理体制や対策はどうか。

答

授業や家庭での活用内容や児童生徒の現在のスキルの程度を踏まえて、チャット機能や通話機能、グループ作成機能の利用制限を行っており、児童生徒が個別に自由なやり取りを行うことはできない。また、タブレット端末のIDは、他人に推測されないよう運用している。

併せて、情報モラルや使用ルールの指導を行っているほか、保護者にもルールや個人情報の取り扱い等について周知し、理解と協力を求めている。



9月10日



9月27日



9月28日



議会改革特別委員会

「通年議会」や「議員活動の実態把握」など、議会改革特別委員会として検討してきた内容を確認し、議長への報告書として取りまとめました。（報告書は市議会ホームページに掲載しています。）

決算特別委員会

決算特別委員会が9月定例会において設置されました。なお、前年同様今回の特別委員会も現任と前任の議長及び議会選出の監査委員を除く15名の議員で構成されました。

（一般会計）

自治会加入率について

問

令和2年度の自治会加入率は79.6%である。今後下がり続けた場合、どのような課題が想定されるか。

答

下がった要因は、高齢者の世帯分離やアパートの増加などによるものと考えられる。本市においては、地域のまちづくりにおける大きな役割を自治会に担っていたため、それらが困難になってくることを危惧している。

介護保険事業特別会計 配食みまもりサービス 事業について

問

令和2年10月から民間活力を導入して利用者は84人という実績である。どのような形態で行っているのか。

答

従来は週1回の配食を地域ボランティアで行っていたが、高齢化や人員不足により継続が難しくなったことから、現在は6事業者で行っている。弁当の実費は利用者負担で、栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、ひとり暮らし高齢者等の見守りを行っている。

【病院事業会計】

在宅医療の充実について

問

現在のコロナ禍において、そしてこれからの高齢化に伴い在宅診療が増えてくると思うが、市民病院ではどのような実態か。

答

当院では在宅で診療を受ける方法として定期通院患者さんに電話診療を行っている。多い日で20人程度対応した。

9月定例会

会 期

9月2日～9月29日 28日間

議決結果一覧表

【議 案】

番 号	件 名	結 果
第46号	令和3年度射水市一般会計補正予算(第4号)	可決
第47号	令和3年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
第48号	令和3年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決
第49号	令和3年度射水市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
第50号	令和3年度射水市病院事業会計補正予算(第1号)	可決
第51号	射水市個人情報保護条例の一部改正について	可決
第52号	射水市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
第53号	射水市市税条例の一部改正について	可決
第54号	射水市手数料条例の一部改正について	可決
第55号	射水市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第56号	射水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第57号	射水市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可決
第58号	令和2年度射水市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
第59号	令和2年度射水市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
第60号	令和3年度射水市一般会計補正予算(第5号)	可決

番 号	件 名	結 果
第4号	令和2年度射水市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
第5号	令和2年度射水市水道事業会計決算認定について	認定
第6号	令和2年度射水市下水道事業会計決算認定について	認定
第7号	令和2年度射水市病院事業会計決算認定について	認定

【報 告】

番 号	件 名	結 果
第8号	専決処分の報告について	—
第9号	令和2年度射水市健全化判断比率の報告について	—
第10号	令和2年度射水市資金不足比率の報告について	—
第11号	令和2年度射水市継続費精算報告について(一般会計)	—

【請 願】

番 号	件 名	結 果
第1号	コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願	不採択

【諮 問】

番 号	件 名	結 果
第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申

【認 定】

番 号	件 名	結 果
第1号	令和2年度射水市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
第2号	令和2年度射水市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
第3号	令和2年度射水市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定

【議員提出議案】

番 号	件 名	結 果
第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決

【議案等議員別賛否一覧】

番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	議決結果
議員名	加治 宏規	高畑 吉成	根木 武良	瀧田 孝吉	島 正己	菊 民夫	中川 一夫	中村 文隆	欠 員	山崎 晋次	石黒 善隆	不後 昇	吉野 省三	伊勢 司	津田 信人	堀 義治	竹内 美津子	奈田 安弘	高橋 久和	欠 員	小島 啓子	欠 員	
議案第46号	○	○	×	○	○	○	○	○		○	※	○	○	○	○	○	○	○	○		○		可決
議案第58号	○	○	×	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		可決
議案第59号	○	○	×	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		可決
認定第1号	○	○	×	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		認定
認定第2号	○	○	×	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		認定
認定第3号	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○		○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	認定
認定第5号	○	○	×	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		認定
認定第6号	○	○	×	○	○	○	○	○		○		○	○	○	×	○	○	○	○		○		認定
請願第1号	×	×	○	×	×	×	×	×		×		×	×	×	×	×	×	×	×		×		不採択
議員提出議案第2号	○	○	×	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		可決

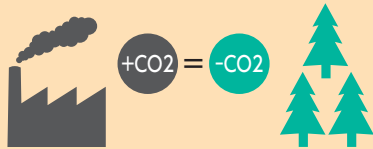
○…賛成 ×…反対 ※…議長は採決に加わりません。

～市議会だより用語解説～

代表質問・一般質問における用語を解説しています。

カーボンニュートラル (P2、6)

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること



アウトリーチ支援員 (P2)

社会福祉の分野で支援機関が、支援拠点に足を運べない人に向けて訪問型の支援をする者



ハンズオン支援 (P3)

経営課題を抱える中小企業などを対象に経験豊富な専門家を派遣し、さまざまな経営アドバイスを提供すること



要配慮者 (P4)

高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する者



福祉避難所 (P4)

一般避難所での避難生活が困難な方、いわゆる要配慮者のための避難所



マイタイムライン (P6)

台風の接近等によって大規模な土砂災害が発生する時に備えて、「いつ」「誰が」「何をするのか」を時系列で整理しておく避難行動計画



編集後記



中村 文隆 広報委員会委員（産業建設常任委員会委員長）

コロナ禍もあり日本では今、全国的に官民間問わずDX化推進に取り組んでいます。本市でも遂にDXビジョンが示されました。このような黎明期には先んじた者が全てを制するのが常であり、何よりもスピードが重視されます。我が射水市は標準市として国のDXモデル都市となり得るポテンシャルがあると考えています。広報等配布物のデジタル配信や連絡機能により町内会世話人の担い手不足を補い、生活必需品のオンライン注文宅配による買い物難民の解消、災害や緊急時の安否確認や将来的には自動運転バスの配車等に至るまで、まさに市の未来を左右する大きな取組です。希望者全員を置き去りにすることなく強力にサポートし、推し進めていければと考えています。

●広報委員会【委員長】島 正己 【副委員長】山崎 晋次

【委員】瀧田 孝吉、中村 文隆、石黒 善隆、吉野 省三、堀 義治、奈田 安弘、小島 啓子

次の定例会は12月です

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課（TEL 51-6610）までお問い合わせください。

傍聴者数

9月定例会

本会議 ……24人

委員会 ……52人

合計 76人

皆さんの傍聴をお待ちしています。ご希望の方は、議会開催日に本庁舎5階・議会事務局までお越しください。

議会だよりNo.63号でお知らせしていました議会報告会は新型コロナウイルス感染症拡大の情勢から、来場者及び関係者の健康面、安全面を第一に考え、開催を中止しました。参加を予定しておられました皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。